



Vol.48

★向井蘭の“新刊”が発売になりました!!

人事・労務担当者のための 労働法の しくみと仕事が わかる本

弁護士
向井 蘭
Mukai Ran



「労務リスク」の回避・対応の
ポイントがわかる

- 労働法の全体像
- 労働時間・休日・休暇
- 就業・解雇
- 退職・定年・再雇用
- 就業規則
- 求人・採用・内定
- 人事異動
- 休職・メンタルヘルス
- 労働組合対応
- 賃金

日本実業出版社

著者：向井蘭

出版社：日本実業出版社 (2012/1/28)

価格：1,785 円

Amazon URL <http://amzn.to/xBORDP>

このたび、私向井蘭の“デビュー作”が発売となりました。今まで雑誌への寄稿や共著などは経験がありますが、まるごと1冊書いたのは、今回が初めて。全ページを自分自身の言葉で埋めるという、非常に貴重な体験をいたしました。

本書は「人事・労務担当者のための」というタイトルにもあるように、初めて人事部に配属された人や「会社の権利」がわからないまま労務を担当している人には是非読んで欲しいと思って執筆しました。100%会社の立場で書きましたので、顧問先に的確なアドバイスをしたい社会保険労務士や弁

護士の方にも役立つノウハウが満載です。今まで培ってきた知識と経験を元にかなり刺激的でセンセーショナルな内容になったと思っています。一部をご紹介すると…

(3) 雇用契約と所有権

雇用契約において、使用者が労働力を買い取った結果得られる権利は「所有権」の概念に当てはめると、理解しやすくなります。

所有権は売買契約などにより得られる権利ですが、その内容は使用、収益、処分に分けることができます。

土地を買い取る行為を例にあげれば、「使用」とは、土地の上に家を建てて住むというように、文字通り自ら使用することをいいます。「収益」は、買い取った土地を駐車場として他人に使用させ、その対価として賃料を得るなどの行為を、「処分」はその土地を他人に売ることなどを指しています。

雇用契約を「所有権」に当てはめて語ったのは、業界で初めてなのではないかと思っています。でも、こうやって考えていくと、今まで複雑に思っていた労働法の仕組みが、非常にわかりやすくなると思います。

他にも「労働基準法と現実のギャップ」「世にも恐ろしい『解雇』をめぐる裁判」など、読めば役に立つノウハウもまとめました。採用、内定、賃金、解雇、人事異動のやり方に至るまで、なるべく専門用語を用いず、わかりやすく書いたつもりです。

向井渾身の1冊、ご購読頂ければ幸いです。